

小金井第一小学校校舎改築等工事 工事説明会に関する
ご意見・ご質問及び回答（要旨）

日 時：令和8年7月5日（日）午前10時30分から 第一小学校体育館（出席者：24名）

令和8年7月9日（木）午後 7時00分から 第一小学校体育館（出席者：13名）

配布資料：小金井第一小学校校舎改築等工事 工事説明会資料

説明内容：改築等工事説明

< ご意見・ご質問及び回答（要旨） >

番号	ご意見・ご質問	回答
1. 学校スケジュール・情報提供		
1	工事に関連した学校スケジュール等について、保護者への情報提供は、どのように行う予定か。	7月1日号の学校だよりにおいて、現時点で学校が検討している対応について掲載しております。 また、学校ホームページにも掲載しておりますので、ご確認ください。 今後、工事の進捗状況等により対応が必要となる事項が生じた場合には、適宜情報提供を行ってまいります。
2. 校庭・体育館関係		
1	令和10年度に入学予定の子どもの保護者である。 校庭を利用できない期間が3年近くあるとのことだが、その間の体育授業や運動会の実施については、どのように考えているのか。	体育授業については、工事期間中も体育館を使用できる予定です。 また、今年度夏休みに既存校舎屋上の一部についてゴムチップ舗装を行い、2学期から児童が使用できるよう整備する予定です。 加えて、本年秋頃から年内にかけて、庁舎建設予定地の一部において、約900㎡（30m×30m程度）のゴムチップ舗装を行い、3学期頃から使用できるよう考えております。 なお、この場所は庁舎建設予定地であるため、庁舎工事着工までの期間に限った利用となりますが、体育授業等での活用を考慮しており、第一小学校専用の場所となります。 運動会については、令和9年度及び令和10年度は第二中学校で実施する予定です。 また、昼休みについては、全学年が一斉に昼休みを取るのではなく、3学年ずつに分け、昼休みと清掃時間を入れ替えるなど、時間の使い方を工夫する予定です。 昼休みとなる学年については、体育館や屋上を利用するなど、限られたスペースの中でも児童が活動できるよう、学校のカリキュラム上の工夫を行いなが

		ら対応していきたいと考えております。
2	放課後子ども教室や学童など、校庭を利用している団体については、今後どのような対応となるのか。	校庭を利用している団体については、庁舎建設予定地に整備する場所について庁内で情報共有を行っており、関係課において利用方法や課題等について調整・検討している段階です。
3	体育館改修に伴い、体育館が1週間程度使用できなくなる期間はあるのか。	体育館改修については、令和9年度夏休みに予定している照明LED化工事の際に、一定期間使用できなくなる見込みです。 また、窓サッシ改修についても、工事内容によっては使用範囲を一部制限する場合があります。 その際には、学校及び関係者へ適切に情報提供を行ってまいります。
3. 工事の影響・環境対策など		
1	仮囲いの高さが3mとのことだが、校舎で例えると何階程度の高さとなるのか。	校舎1階の窓から見ると仮囲いの壁が見える程度となり、2階の窓からは仮囲いより上部を見ることが出来る程度の高さとなるイメージです。
2	工事工程の中で、騒音や振動が大きくなる時期はいつ頃になるのか。	新校舎の基礎工事や躯体工事の際に、騒音や振動が発生することが想定されます。 その対策として、低騒音・低振動型の重機の使用、工事車両の場内徐行、作業方法の工夫等により、周辺への影響をできる限り低減するよう努めてまいります。
3	粉塵対策として散水を行うとのことだが、どの程度粉塵が発生するのか分からない。 例えばマスク着用等の注意喚起を行うこともあるのか。	粉塵対策として散水を十分に行うほか、工事車両のタイヤ清掃等を実施し、粉塵発生抑制に努めます。 ただし、気候条件や風向き等によっては粉塵が飛散しやすくなる場合もあることから、風が強い日などにつきましては、状況に応じてマスクを着用するなどのご配慮をいただけますと、工事側としても幸いです。
4	児童が授業中に騒音や振動の影響を受けることが想定されるが、実際にどの程度の大きさになるのか、具体的なイメージを教えてください。	工事に伴う騒音は作業内容により異なりますが、一時的に80デシベル（音圧レベル）程度となる場合があります（その場での会話が難しく感じられる程度ですが、同程度の音が継続して発生するものではありません）。 振動については、作業内容によって70～75デシベル（振動レベル）程度となる場合があります。 （工事箇所が近接する場合には教室内で揺れを感じる可能性があります）。 振動が発生しやすい作業としては、重機走行、地中障害物の撤去、土とコンクリートガラ分別作業等

		があります。 工程上、令和8年8月中旬以降に重機作業が開始され、解体工事は翌年1月頃まで、根切り工事は2月末頃までを予定しており、この時期は振動が発生しやすいです。 その後の工程では、大きな振動を伴う作業は減少する見込みです。 騒音についても、解体工事時に発生するほか、建築工事中にも作業内容によって一時的に大きな音が発生する場合があります。
5	新校舎の基礎の深さは、どの程度になるのか。 また、杭工事の際どの程度の振動が発生するのか。	杭の長さは10m及び11mとなる予定です。 杭は支持層まで施工しますが、支持層に達した後、杭の先端を支持層に打ち込む際に振動が発生します。 振動の程度としては、仮囲い付近に立っている場合には、振動を感じる程度になると考えております。 なお、コンクリートを破砕する際に発生する振動ほど大きなものではありません。
4. 工事の運営・管理・その他		
1	工事期間中、作業員数が最も多くなる時期はいつ頃で、人数はどの程度となるのか。 また、昼休憩時の近隣店舗等の混雑へ影響するのか。	作業員数が多くなる時期は、躯体工事と内装工事が重なる時期であり、具体的には令和9年12月頃から令和10年3月頃を想定しております。 人数については100名を超える規模となる見込みです。 休憩時間を分散させることは現場管理上難しいですが、近隣への配慮として、昼食は事前に準備するなど、作業員への指導を行ってまいります。
2	工事車両及び作業員の車両の出入りについて確認したい。 また、外国籍の作業員が従事する場合、現場での意思疎通等について教えてほしい。	工事車両及び工事関係者車両については、南側及び東側に設置するゲートから出入りする予定です。 また、昨今の建設業界の状況から、外国籍の作業員も従事することとなります。 日本語による意思疎通が難しい作業員がいる場合もありますが、職長等については必要なコミュニケーションを取れる体制としてまいります。
3	仮囲いから工事作業範囲側には、児童は立ち入らないという認識でよいのか。	仮囲いは、既存校舎南側に設置する予定であり、工事区域と学校利用区域を区分します。 児童が工事区域へ立ち入ることがないように安全管理を行います。 また、工事関係者についても学校側への不要な立ち入りがいよう管理いたします。

4	作業員が100名を超える時期があるとのことだが、通勤車両は敷地内に駐車するのか。	基本的に作業員の通勤車両は敷地外に駐車する予定です。 ただし、工具等の搬入・搬出のため、一時的に現場内へ車両を入れる場合があります。 作業員用の駐車場については、工事受注者側で確保する予定です。
5	工事現場を学習の場として活用することについて検討してほしい。	(ご意見として承りました。)
6	以前の説明会では日影図を示していたが、本日の説明会では資料がないのか。 また、以前の説明会時点から日影の影響に変更はないという認識でよいか。	前回説明した日影図から変更はございません。 (スクリーンに日影図を投影し説明いたしました。)
5. 既存校舎解体工事関係		
1	既存校舎解体工事及び校庭整備工事は、どの事業者が行うのか。	別途発注手続きを行い、工事受注者を決定する予定です。 工事受注者が決定した後は、本日の説明会と同様に、改めて工事説明会を開催する予定です。
2	既存校舎解体工事と校庭整備工事は別途発注していくとのことだが、改築工事同様に発注がうまくいかず、期間が延びてしまうということはあるのか。	別途発注する工事についても、入札が不調となる可能性はございます。 そのような場合でも、スケジュールへの影響をできる限り抑えられるよう、早めに入札手続きを開始し、必要に応じて複数回入札を行えるよう準備期間を確保するなど、不調対策を講じていきたいと考えております。
3	既存校舎解体工事について、粉塵の飛散防止対策のための養生をどのように考えているのか。	既存校舎解体工事については、別途発注を行う予定であり、今後、工事受注者決定後に詳細を詰めていくこととなります。 現時点で想定している対策としては、既存校舎の周囲について、最上部までシートまたはパネル等により全面的に囲い、粉塵の飛散防止に努めながら作業を行う予定です。 解体工事については、一般的な解体工事の方法に基づき、必要な養生を行いながら施工してまいります。